

2

千代田区報

No. 44

昭和32年2月15日

千代田区役所

発行

九段33局 0151
8531

毎月1回

生 年 一 ぐ す う も

査 検 体 身 備 予 童 児 学 就



区立小学校へ入学する児童の予備身体検査が一月二十八日から始められました。ことし入学の新生一年生は約千七百四十名お母さんに手を引かれてもう一年生になったような気持ちで皆ニコニコ顔です。これから学用品を揃えたり、洋服を買つ

たりで親ごさんたちの苦勞も又大変なことでしよう。これから入学までの間、お子様の健康には十分気をつけてみんな元気で入学式を迎えられるように区では望んでいます。

(神田小学校で)

行事メモ

◇二月◇

十六日 千代田学芸講座 午後二時
千代田図書館(漱石と鶴外—吉田精一氏)

十八日 区教育研究会発表会 午後一時半
今川中

十九日 住宅相談 午後一時
区役所 ▽中央ブロック社会教育研究発表会

二十日 法律相談 午後一時
区役所

二十三日 九段小学校PTA映画会 午後一時・六時
同校

二十五日 芳林小学校創立四十七周年記念式

二十六日 住宅相談 午後一時
区役所 ▽区観光講座 午後一時

区役所 法律相談 午後一時
区役所 ▽区観光講座 午後一時

◇三月◇

九日 千代田学芸講座 午後二時
千代田図書館(哲学と文学 高桑純夫氏)

就学児童の方へ 今年入学なさるお子様をお持ちのご家庭で、未だ就学通知が届いていないか、つたり、入学式前に区内に転入した場合は至急、区教育委員会または管轄の出張所へその旨をお申出下さい。

教育委員会学務課

これからの商法を語る



神武以来という形容には多分に誇張があるにしても、最近の経済界の景気は好況を呼んでいるが、このような折から千代田区の経済状態はどうなのだろうか。区商工観光課では去る一月二十一日、日本経済新聞社会議室で区内中小企業者の各界代表を招いて、懇談会を開き同社顧問経済評論家小汀利得氏を中心に、今年の経済展望、中小企業の経営策など、二時間にわたり日頃の抱負や要望を話し合った。以下は同懇談会要旨。

すべて積極的に

この日出席の各界代表は、金物通親和会、浅井秀三、東京被服協同組合、上野金太郎、千代田専門商店、太田年哉、神田商店連合会、岡泰助、有楽町町会、築山初二、麹町商店街連合会、蓮見精司、神田のれん会、原田恒男、電気器具卸商協同組合、広瀬太吉、神田優良店会、増田一治、(以上五十音順)の九氏で、これに区側から村瀬区長、藤田商工観光課長、千葉商工相談所嘱託が参加した。

『神武景気』はこれから

はじめに小汀氏から最近の経済情勢について専門家の立場から懇切な説明があり、「神武以来のことには考える余地はあるが、兎に角国外、国内ともに好景気で、しかも石橋内閣が積極策をとろうというのだから、経済の見通しは非常に明るい。このような時勢で販売するには、食べるものも食べず、小金を貯めるなどということはやめて、例えば店舗を改善したりして、すべて積極的に商いするの(写真)後列右から原田、増田、蓮見、岡、太田、上野、浅井、広瀬、築山、前列右から小汀、千葉の各氏に村瀬区長、藤田課長)

充実した専門店となれ

— デパート対策 —

次にデパート対策だが、小売業者の繁栄に大きな影響を及ぼすデパートを、中小企業者として恐れるのは当然で、(デパートの営業時間を制限してもらいたい)「デパートの月賦販売はなんとか止めてもらいたい」など排撃論が多い一方(すべてでできているものに止めろと云つても無理、それよりも小売商は専門店としてもっと充実さ

せデパート以上の良い専門品を、サービスをよくして売れば、デパート恐るるに足らずではないか)「デパートに対抗するには小売商同志の密接な団結が必要」という積極論も聞かれた。

だが、欲しい定住人口

せひゲタバキ住宅を

しかしなんと云つても都心地千代田区に定住人口の少ないことは、中小企業経営にとって致命的な問題で、この日の最も大きな話題だった。

建設委員協議会

区議会

1. 市ヶ谷市場跡地について
 2. 飯田橋入渠埋立について
- 各派幹事長会
一月二十二日午後一時三十分議長室

1. 臨時出納検査立会議員選任について

香村議員逝去

こうした要望に対し、村瀬区長は「ゲタバキ住宅の建設は小売商の起死回生策としては最大のものだ、資金ルートとして政府の住宅公団、住宅協会、住宅金融公庫の三つがあり相当便宜を計っている。また首都圏整備委員会でもこの問題をとり上げてくれる。ただ、一つのビルができれば、その仮営業所をどうするか、それが難点だが、ぜひ実現したい」

又議会議員香村嘉一郎氏(五七)は糖尿病と腎臓病で永らく三葉病院に入院治療中であつたが、二月十二日午後九時三十分逝去された。葬儀は十五日午後一時から神田錦町の自宅で厳かに挙行された。

どうぞご利用下さい

◇毎週木曜日◇
◇区役所商工係で◇

商工相談

経営、経理、店舗改装など専門の相談員が無料でなんでもご相談に応じます。



生徒の傷害見舞金 など 見当 教育振興会

(区立中PTA協議会)

区教育委員会では一月二十二日千代田図書館集会所で区立中学校PTA協議会を開いた。この席上で、小中学校生徒・児童の傷害見舞金制度、中学校費の増加、区営運動場、教育振興会、など四つの課題が取り上げられ活発な意見の交換があつた。

小中学校生徒、児童の傷害見舞金制度これは校内での負傷だけでなく先生が引率した場合の事故にも見舞金をおくりたいという案だが、今回の案はこの見舞金のために生徒一人につき区から十二円程度の補助金、各PTAでは一人二十四円程度を用意しようというものである。

中学校費の増加 現在千代田区内五つの中学校PTAではPTA会費が年間計千八百万円、これを教育面にも当てている。この会費による父兄の負担を少しでも減らし、またPTA本来の姿にするために区からの教育直接費を増加してもらいたいというものが、殊に教材用費の増額が望まれている。なお、現在中学生一人当りの区教育費は年間百四十円前後である。

区教育研究発表会 二月十八日今川中

区教育研究発表会が来る二月十八日今川中学校で開かれる。今回は、国語、社会、算数、英語、理科、音楽、職業家庭、保健の各分野についてそれぞれ研究成果を発表を行うことになっている。

区営運動場 千代田区は都心部のためこの学校でも校庭が狭く運動会も満足にできない状態だ

区営の九段グラウンドは野球専用のため不便、なんとか区営運動場を建設できぬものかとの要望があつたが、これには最低三千坪の土地が必要で、都心区としては今のところ期待できない実情だ。

教育振興会 これは各校のPTAに横の連繋をもたせ、同時にこれを区内の会社など地元との一本化を図って、教育の振興を期そうという案である。

写真コンクール 土産品展示会

区観光事業計画決まる

千代田区観光協会(会長村瀬 清)

は、八日午後一時から三十二年度総会を開き、三十一年度の事業決算報告を行い、続いて本年度の事業計画を決定した。同協会では向う一カ年間に次のような事業を行う予定で、これらに対し四十万円の予算を計上した。

二月 千代田区観光講座
四月 皇居周辺散策

鎌倉臨海学園



区立鎌倉臨海学園の一日は砂丘を流れて行く美しい音楽と、朝のしじまを彼つて響く「一、二、三、四...」というこどもたちの元気なかけ声に始まる。

これは昭和五年、学園開設以来絶えることなく響いてきた乾布マサツのかけ声、いわば学園二十有余年の歴史を物語るものだこの学園「名物」乾布マサツは健康教育をモットーとする本学園に欠くことのできない重要なポイントである



乾布マサツをすれば皮膚が鍛えられ、皮膚が鍛えられればその働き(保護、体温調節、知覚、呼吸など)を増進し、風邪の予防、疲労回復などに大いに役立つと云われている。現に学園児童には、昨今の異常な風邪の流行期にも一名の罹病者さえ出ない点などは、日頃の皮膚鍛練の効果が現れたものと見てはいけないうか。

一方乾布マサツは皮膚鍛練だけでなく、児童に健康生活上の良習慣を与えること児童の意志の力を養うことも大きな目的としている。しかし、こどもたちにとつて四季を通じてこの早朝の日課は辛いに違いない。暖かい日はまだしも秋

の終りから極寒にかけての何カ月かは鍛え続けたものでなくてはともできない。それでもこの時期には、寒さを吹飛ばそうとこどもたちの声は常よりも遙かに大きく、元気一ぱいである知らず知らずのうちに強固な意志が養われて行くのだ。学園では伊藤園長のいう「明日の健康のための今日一日」が乾布マサツから始まる。今朝も零下二度の寒風について元気なかけ声が響いていく。

32・1・24記

向パンフレットの発行、なども行う予定である。

観光講座開催

二十六・七日区役所で

区商工観光課では二月二十六、二十七日の両日それぞれ午後一時から区役所会議室で次の通り観光講座を開催する。対象は区内の一般接客業者に観光関係者。

二月十六日「観光設備の改善」
国際観光設備協会事務局長島田隆次郎氏「サービス」
本観光連盟専門委員高橋保美氏
二十七日「全国のためのお

みやげ」
評論家戸塚文子氏
観光バスにより区内観光地巡り
豊島町町長長改選 町会長市瀬勝氏(豊島町六)▽副町会長佐甲義治氏(豊島町五)

◇区人事異動(二月一日付) 番町出張所庶務係長兼区民係長 稲垣敬次(課税課源泉区民係)▽神保町出張所庶務係長兼区民係長 嶋欣一(課税課普通区民係)▽総務課勤務 後藤梅治(神保町出張所庶務係長兼区民係)▽練馬区役所総務課 有吉秀男(番町出張所庶務係長兼区民係)

区婦人団体が

“手ぬぐい一本運動”

新年にはどの家でも手スグイがやり取りされる、この中各戸一本づつを出し合つて養老院、児童保護施設などへプレゼントしようという区婦人団体協議会で“手ぬぐい一本運動”を区内各般にわたつて行

いよいよ成果を上げた。

これは先月はじめから行われてたもので、同協議会の神保町、神田公園、万世橋、和泉橋の四地区の婦人部が各町会を通じて呼びかけたところ、目標の一万

人形劇や幻灯

十一日から各区民館で

区民生課主催の室内こども会は、次の通り各区民館で行うことになり、出し物は人形劇や幻灯。これは毎月行つてゐる野外保育を、冬期間のため、室内に移したもので、二月二十二日以降は「ひなまつりこども会」である。

【室内こども会】 11日神保町▽13日万世橋▽14日和泉橋▽15日富士見町▽18日番町▽19日神田公園

愛犬家の皆さんへ

飼犬は東京都知事からのけい留命令によつて必ずつないでおかねばならないことになつてゐます。このけい留期間は昨年十二月三十一日まででしたが、今年六月三十日まで延長されました。これは昨年横浜市内で真性狂犬病が発生し、東

つないでおかないと捕獲されます

地に立入りもできます。

内濠周辺駅伝競争

区役所前が発走点

区教育委員会では来る二月十七日恒例の内濠一周駅伝大会を開催する。

当日は午前九時九段下区役所前に集合、午前十一時発走、九段下、九段上、三番町、三宅坂、桜田門、清原公園、竹橋、区役所とい

うコースで区役所が中継点となる

が、地域青年と中学の部は桜田門でも中継する。参加は一般、高校

の部が一チーム八名、地域青年、中学の部が一チーム九名となつて

本を突破した。そこで協議会ではこの一部を二月十五日に板橋の東京都養育院へ持参し、同院のおとしよりを慰問した。

小中校連合音楽会開く

二月四日、区公会堂で区立小中学校連合音楽会が開かれた。今年は鎌倉臨海学園の児童も元気に参加し、また中学校の部ではピアノ、ヴァイオリンの独奏で、ショパンやシューベルトの名曲を演奏し、本格的なものだった。



(小中学校連合音楽会)

区政日誌

(二月)

十二日 千代田学芸講座(漱石について—唐木順三)

十五日 区成人の集い

十七日 区観光協合理事会

二十日 区バトミントン祭

二十一日 区立小中学校校務主任会▽区内中小企業各界代表懇談会

二十二日 区立中学校PTA協議会▽新年こどもカルタ会

二十三日 新年こどもカルタ会

二十四日 日赤奉仕団懇談会▽連合町会長会議▽新年こどもカルタ会

二十五日 区体育協合理事会▽新年こどもカルタ会

二十六日 千代田学芸講座(現代日本の文学—野間 宏)▽区剣道連盟新年初稽古

二十八日 新年こどもカルタ会

二十九日 朝比奈宗源老師講演会▽第三回優秀記録映画の観賞会

千代田区の人口 (昭和32年1月1日現在)

		前 月		本 月		差 増	引 減
		26,652		26,617			
人	男	67,289		67,281		—	8
	女	54,497		54,491		—	6
	計	121,786		121,772		—	14

▽新年こどもカルタ会
(二月)

一日 区民スキーの集い(四日まで山形県蔵王)

四日 区立小中学校音楽会▽出張所長会▽神田、西神田小学校予備身体検査

五日 芳林小予備身体検査▽野外保育運営打合せ会

六日 教育委員会定例会▽九段小予備身体検査

八日 区観光協合理事会

十一日 区臨時出納検査▽千桜小学校予備身体検査

十二日 児童図書懇談会▽区臨時出納検査

訂正

一月号の本紙に掲載致しました千代田学芸講座の日程中、二月二十三日の「漱石と鶴外」についての講座は二月十六日の誤りです。お詫びして訂正いたします。